

平成28年度 創立記念式典及び講演会

2016年5月10日(火)

創立記念式典は、年に1度、母校の長い歴史を振り返るひとつのきっかけとするために、毎年5月に開催されています。1910年創立の母校は、今年で106周年を迎えます。

式典では、富田校長が式辞を、同窓会の藤江会長が祝辞を述べられました。富田校長は創立者、伊藤伝右衛門氏や30名の歴代校長、数多くの先生方・生徒たちによって築かれた歴史の重みを、藤江会長からは創立当時の時代背景や女性の権利について、さらに学校が立つ地域は日本の古代の文化の宝庫である遺跡であることに誇りを持つと激励のメッセージを頂きました。

続く講演会では、母校の25回卒業生で、株式会社麻生飯塚病院の取締役院長であられる増本陽秀（あきひで）氏にご講演いただきました。

まず、麻生飯塚病院の概況と最新の医療設備やサービス、様々な講演会・研修会の開催、地域貢献活動を紹介され、「日本一のみごころ病院」実現のための「三本の矢」（ISO・TQM・INOVATION）について熱く語っていただきました。

続いて、嘉穂東高校時代、自分の実力を試すため最難関の九州大学医学部を目標に設定し、突然、猛勉強を始めるが受験に失敗、予備校で体力と精神力の限界まで勉強し翌年に合格された体験談と、医師になって30代後半でアメリカ留学を目指し、有名大学に次々と手紙を送り（100通以上）、何度も断られ挫折したが、あきらめずに送り続けた結果ハーバード大学への留学が実現したエピソードを語っていただきました。

最後に、生徒の皆さんへ

夢を持って、自分の力より少し上に目標をおいて
いつも少しがんばって、つらい時もあきらめずに
すこしずつ上に登って、良い思い出を残しながら
夢をめざそう

と激励のメッセージをいただきました。

講演終了後は、生徒代表謝辞、花束贈呈、応援団からのエールを送りました。

増本陽秀氏のますますのご活躍を、嘉穂東高校・同窓会一同、お祈りしております。



飯塚トピックス

麻生飯塚病院



医師:約300名 看護師:約1,100名
病床数:1,116床
日本発のクローバー型病棟でナースステーションから病室への導線が近い。
自家発電設備は停電時、1週間は賄える。
外来待ち時間短縮の取り組みは学会で「学術奨励賞」を受賞。
遠賀川川下り大会・飯塚山笠など地域貢献活動にも参加。
世界の医療施設と提携。
麻生看護大学校は平成26年度まで10年連続、国家試験合格実績100%

麻生大浦荘



「筑豊御三家」のひとつに数えられた麻生家の別邸で、数奇を凝らした和風入母屋書院造りの美しい邸宅は大正末期に建てられたと云われています。建材は主に松と杉、柱は四方柱に製材されており非常に高価な木材が使用されています。

まちなかイルミネーション大作戦



市民参加型の手づくりイベントとしてスタートして5年目。千鳥屋本家から片島まで緑道公園の全区間にイルミネーションを設置。まちを愛する市民の方々からの募金や協賛金で運営されています。
点灯期間:
平成28年11月26日～平成29年1月20日

飯塚市役所新庁舎建設中

新庁舎は、地上8階建て、市の防災拠点でもあり、災害に強い建物とするために「免震構造」を採用しています。また、正面玄関付近には野見山暁治画伯（飯塚市出身の日本を代表する洋画家）の原画をもとにしたステンドグラスが設置されます。平成29年2月末完成予定。



同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <http://kahohigashi-doso.net> です。

